

令和6年度指定管理者制度事業評価実施結果一覧

施設名		評価結果				事業評価総合コメント（指摘事項等）	今後における業務改善の方向性
		基礎的 業務	利用者 サービス	収支 状況	総合 評価		
1	さわらびの湯	S	S	A	S	○利用者アンケートや顧客満足度調査からは、清潔で快適な空間づくりが評価されており、常にお客様視点でのサービス提供がなされている。 ○施設の老朽化が進み、施設維持は年々難しくなっている中、自社での清掃・点検と迅速な修繕により、年間を通して適正な運営ができています。 ○地域や周辺施設との連携にも大変積極的であり、観光のみならず地域活性化においても名栗エリアの拠点として機能することができている。	○利用者数は7万人台を維持したものの、コロナ禍以降微減傾向が続いている。一方で物価高騰や人件費のベースアップ等により、支出金額は今後も上昇することは避けがたい状況である。近隣施設や地域と連携した事業展開による効果的な宣伝や物販の強化など、更なる利用者確保の方策や収入増を期待する。 ○施設の老朽化に対しては、適切な維持管理及び早期の修繕により施設の長寿命化に努めること。
2	農林産物加工直売所	B	A	B	B	○「名栗ほたる鑑賞の集い」や「名栗ふるさとまつり」の会場として利用され、名栗地域の賑わいの創出と交流拠点としての機能を果たしている。 ○収支については、改善を図るべき状況であることから、利用者ニーズの把握に努めるとともに、競合施設と差別化されたサービスを提供する等、売上、利用者数を増やす工夫を講じる必要がある。 ○協定等の遵守や、緊急時など必要な時に確実に連絡が取れる体制を整えること。	○安心安全な管理運営に努めること。 ○アウトドアブームが落ち着きを見せる中、常に注目を集める施設となるよう新しいことにチャレンジしていくこと。 ○地域住民に愛される施設となるよう、地域を巻き込んだ事業展開を積極的に図ること。
3	ふれあい農園施設	A	A	A	A	○施設周辺に隣接する農地一帯を栗・ブルーベリーの農園として借用し、地域農業の推進に努めている。 ○地域のイベントへの参加や観光協会と連携したエコツアーを開催するとともに、高齢化等で管理が難しくなった地域の栗畑の管理を担うなど、地域密着型の施設としての役割を果たしている。	○経年劣化がみられる施設のため適切な維持管理を着実に実施すること。 ○引き続き、地域を巻き込んだ取組を実践すること。
4	林業センター	A	A	A	A	○施設の管理運営については、利用者が安心して利用できるよう行われていた。 ○林業振興を図るため、自主事業として行った木育イベントは参加者数が昨年度の2倍であった。これにより、より多くの方に森林・林業を身近に感じていただける機会が提供されたことは評価できる。	○指定管理者の自主事業として、令和3年度から実施している木育事業は、内容が充実し、参加者も増加しており、評価できる。本施設は、産業としての林業の振興の拠点施設であることから、林業従事者に対しての情報発信、知識や技能の向上機会の創出、地域の方々の森林・林業に関する相談の更なる充実にも努めること。

施設名		評価結果				事業評価総合コメント（指摘事項等）	今後における業務改善の方向性
		基礎的 業務	利用者 サービス	収支 状況	総合 評価		
5	総合福祉センター （施設管理）	A	A	A	A	○利用者が安心して利用できるよう、積極的な取組がなされている。 ○引き続き保守点検や修繕等により、施設の維持管理に取り組むとともに、利用者と良好な関係を築き、地域福祉の拠点としての機能を十分に発揮することを期待する。	○施設の竣工後３５年以上が経過し、経年劣化による建物・設備の不備・不調が懸念されることから、これまで以上に日常点検に配慮し、安全に安心して利用できる施設であり続けられるよう努めること。 ○社会情勢の変化により物価が高騰するなど経費の増大が見込まれることから、引き続き経費の削減に向けた創意工夫に努めること。 ○教育センターとの複合化等により、利用状況の把握等に関して、早急に対応いただいた。今後、貸室の減少となることから、今まで以上に部屋の利用の最適化を目指していくこと。 ○適切な人員配置や事務分担、経営的、人的マネジメントを行うことに努めること。
6	総合福祉センター （身体障害者福祉センター）	A	A	A	A	○手話通訳者養成研修に合格するよう、長きにわたり様々な方法を検討し、関係団体との調整に努められたことに対し改めて感謝を申し上げる。	○教育センターの移転による影響が避けられない中、利用者に負担がかからないよう配慮すること。 ○他市の例を参考に、既存事業や決まりの見直し、新たな取組により、利便性の向上や利用者増につなげること。 ○長年にわたる手話奉仕員養成講座が実を結び、通訳者養成講座に進むことができたことを踏まえ、今後も長期的な視点に立った事業に取り組むこと。 ○地域活動支援事業の利用者についても、引き続き、利用者の現状に適した事業の内容を検討すること。
7	総合福祉センター （老人福祉センター）	A	A	A	A	○利用者へのサービスについては、安全かつ適切に提供されている。 ○今年度も新規の講座を実施するなど、高齢者の健康で明るい生活の向上への寄与に努めている。	○高齢化率が上昇する中で、事業の開催による高齢者の教養の向上や生きがいづくりは今後も必要であるものとする。引き続き、高齢者の健康増進のため、施設の運営に努めること。
8	総合福祉センター （児童センター）	A	A	A	A	○利用者の安心安全を第一に考え、施設美化にも取り組むなど、良好な施設環境を整えている。 ○多様な情報発信や、児童の居場所機能の向上などにより、利用者の増加に取り組んでいる。	○アンケートの実施等により利用者ニーズや実態の把握に努め、更なる児童の健全育成に向けた事業を実施すること。 ○常に利用者目線に立ち、放課後児童や中高生の安心できる身近な居場所づくりに引き続き取り組むこと。 ○子育て家庭や中高生、他の地域の児童に対しても、児童センター事業の周知に取り組むこと。 ○地域と連携した事業を展開し、世代を超えた交流拠点としての役割に取り組むこと。 ○美杉台児童館と更なる連携を図り、同じ指定管理者である利点を発揮した事業展開に取り組むこと。 ○本市の財政状況が非常に厳しい状況にあることから、常に費用対効果を考え、より効率的な施設運営に取り組むこと。

施設名		評価結果				事業評価総合コメント（指摘事項等）	今後における業務改善の方向性
		基礎的 業務	利用者 サービス	収支 状況	総合 評価		
9	高齢者福祉施設敬愛園	A	A	A	A	○今年度も感染症対策を徹底した上で、外出行事が増え、高齢者福祉の増進につながる施設運営に努めている。 ○緊急保護や措置入所など、支援を必要とする高齢者に対し、迅速かつ適切な対応をしている。	○養護老人ホームの特性上、幅広い知識・経験を積んだ職員の対応が求められるため、今後も定年再雇用制度等を利用して人員配置基準を満たす勤務体制を維持すること。 ○高齢化率の上昇に伴い、様々な事情を持つ高齢者の相談が増えることが予測されるため、緊急保護などの案件にも迅速に対応すること。 ○施設の経年劣化に対応するため、日常的なメンテナンスや軽微な修繕をもとに施設の長寿命化に引き続き取り組むこと。
10	美杉台児童館	A	A	A	A	○常に利用者の安心安全を第一に考え誠実に対応していることが良好な施設運営につながっている。 ○児童の居場所機能の向上などにより、利用者の増加に取り組んでいる。	○アンケートの実施等により利用者のニーズや実態の把握に努め、更なる児童の健全育成と子育て家庭への支援に向けた事業拡充を継続することで、サービスと利用者満足度の向上に努めること。 ○常に利用者目線に立ち、放課後児童や中高生、子育て中の保護者の安心できる身近な居場所づくりや利用環境の改善に引き続き取り組むこと。 ○子育て家庭や中高生、他の地域の児童に対し、多様な手段による児童館事業の周知に取り組むこと。 ○ボランティアや地域と連携した事業を展開し、児童の地域で継続した活動につながるように取り組むこと。 ○児童センターと更なる連携を図り、同じ指定管理者である利点を発揮した事業展開に取り組むこと。 ○本市の財政状況が非常に厳しい状況にあることから、常に費用対効果を考え、より効率的な施設運営に取り組むこと。
11	東吾野医療介護センター	A	A	A	A	○利用料金収入については、高い水準をキープしており収入確保につながる様々な取組の成果が表れている。 ○人材の確保及び職員体制の構築に課題はあるものの、全体的には良好な運営がされている。	○通所リハの利用者が増加したように、外来、健診についても増加の余地があると考え。地域との積極的な関わりやPR等に努め、利用者増加につながる取組を継続していくこと。 ○入院及び老健入所については、高い稼働率を維持しており、安定した収入を確保できる分野であるため、引き続きこの状況を維持できるよう努めていくこと。 ○米価をはじめとした物価高騰に伴う管理的経費の増加や、人材確保に係る経費（雑費）の増加など、外的要因による経費の増加がみられるが、引き続き効率的な運営と経費縮減に努めること。 ○人材確保が困難な状況が見受けられたが、利用者へのサービス提供は、施設運営において基本となる部分であることから、業務分担や体制の見直しなどを行い、「質の高いサービス」が常に提供できるよう努めていくこと。
12	都市公園（阿須運動公園、美杉台公園及び岩沢運動公園）	A	A	A	A	○年度当初から計画的に業務を遂行できており、植栽管理等の公園美化に対する意識について高く評価できる。 ○迅速な対応で修繕作業を実施していることから、危機管理能力が高いと評価できる。	○民間事業者を強みに、公園利用者の増加につながるアイデアをもっているため、自主事業による自主財源の更なる確保に取り組むこと。

施設名		評価結果				事業評価総合コメント（指摘事項等）	今後における業務改善の方向性
		基礎的 業務	利用者 サービス	収支 状況	総合 評価		
13	都市公園運動施設	A	A	A	A	○都市公園運動施設の管理・運営については、利用者が安全で安心して利用できるよう、積極的な取組がされている。 ○今後も、利用者への親切・丁寧な窓口対応等を心がけ、利用者との良好な関係を築くことを期待する。	○今後も年間の修繕計画等を策定し、施設の保守点検や修繕等を計画的かつ着実に実施し、施設の安全な管理・運営を行うこと。 ○常に利用者のニーズを的確に捉え、利用者目線に立った質の高いサービスの提供に努めること。 ○引き続き、施設や利用者等の状況について市と情報共有を図りながら、業務を遂行すること。